

2020年度 日本工学院八王子専門学校											
放送芸術科											
映像リテラシーF2											
対象	2 年次	開講期	後期	区分	必	種別	講義	時間数	30	単位	2
担当教員	江口靖二			実務 経験	有	職種	放送業務				
授業概要											
テレビ局内の業務を各部署や業務単位で幅広く解説します。技術的なはなしや制作に関することは他所で学ぶ機会も多いので、ビジネス視点での実例を多く取り入れた授業展開し、プロデュースとクリエイターの違いを理解することで求められる知識、見識、認識の幅を広げる。											
到達目標											
制作（演出・ディレクター）と技術の知識だけでなく、プロデュースの観点からお金を生み出す側を知ることで、番組、テレビ局全体の構造を俯瞰できるようになることを目指す。											
授業方法											
担当する講師の現場での経験を踏まえて、出来る限り実例を交えて授業を展開します。業界を目指す人達にとって興味深い内容に成るように留意します。授業展開によってはワークショップを行い、課題提出もあります。											
成績評価方法											
学期末に試験を行う。成績は試験結果と出席率の総合評価。積極的な授業参加度、授業態度によって評価する。											
履修上の注意											
キャリア形成の観点から、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める。ただし、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。											
教科書教材											
パワーポイントの投影画像を資料として配布する。毎回テーマを決めて映像作品(ドラマやドキュメンタリー等)を見せる。											
回数	授業計画										
第1回	映像コンテンツ及び映像制作総論										
第2回	制作フローとスタッフ編成と役割										
第3回	プロデュースするという事は										

2020年度 日本工学院八王子専門学校	
放送芸術科	
映像リテラシーF2	
第4回	テレビビジネス・営業
第5回	バラエティー番組プロデュース
第6回	商業映像プロデュース
第7回	ドラマプロデュース
第8回	～第9回映画プロデュース
第10回	スポーツプロデュース
第11回	ニュース、報道プロデュース
第12回	インターネット番組プロデュース
第13回	～第14回企画プロデュース演習
第15回	復習、試験対策